R8.10 改定

利用ガイド



独立行政法人　国立青少年教育振興機構

国立大雪青少年交流の家

National Taisetsu Youth Friendship Center

ナキウサギに恋しちゃう大雪❤感動体験！



目次（利用ガイド編）

・国立大雪青少年交流の家とは
・国立大雪青少年交流の家　運営方針

Ⅰ　国立大雪青少年交流の家について
　１　大雪青少年交流の家とは・・・・・３
　２　利用について　・・・・・４

Ⅱ　利用に必要な手続き
　１　受付開始の時期　・・・・・５
　２　利用申込手続きの流れ　・・・・・５・６
　３　利用料金について　・・・・・６～10

Ⅲ　交流の家での生活
　１　標準生活時間　・・・・・11
　２　持ち物　・・・・・11
　３　入所について　・・・・・11
　４　つどいについて　・・・・・12
　５　リーダー会議について　・・・・・12
　６　入浴について　・・・・・12
　７　活動について　・・・・・12
　８　食事について　・・・・・13・14
　９　生活環境について　・・・・・15・16
　10　宿泊に関わって　・・・・・17～19
　11　退所について　・・・・・20
　12　安全管理について　・・・・・20・21
　13　関係機関連絡先一覧　・・・・・22

国立大雪青少年交流の家とは

「また来たい♡」があふれる施設を目指して

ナキウサギは空気がきれいな大雪山系の森林に生息しています。
溶岩によってできた風穴（ふうけつ）がすみかになっています。

「大雪」は北海道の中心に位置し、令和８年度に、開所から 60 年を迎えます。
私たちは今日まで、青少年の集団宿泊や登山、スキーをはじめとする体験活動をサポートしてきました。

近年、子どもたちを取り巻く環境の変化などにより、
体験活動も多様なものとなりました。
そこで、私たちはこれまで以上に子どもたちの「心がうごく瞬間」を大切にしていきたいと思います。
「やってみたい」と思う気持ちを引き出し、自ら考え挑戦できる場にしていきます。

恵まれた自然環境と人々との共生を図りながら、地域に愛される場を目指して連携し、共に成長していきます。



国立大雪青少年交流の家　運営方針

私たち国立大雪青少年交流の家の職員は、以下のようなことを大切に利用者視点にたって活動をサポートします。

①大雪の自然を生かし、心がうごく体験活動を通して、青少年の成長をサポートします。

②地域に愛される場、青少年が自ら挑戦できる場を目指します。

③安全・安心は全ての活動の原点と考え、体験活動を提供します。

④公平・公正で透明性の高い事業を目指します。

⑤より多くの方が体験活動をできるよう工夫し、発信していきます。

⑥常に勇気をもって、新しいことに挑戦します。

⑦地域社会と連携し、共に成長します。





Ⅰ. 国立大雪青少年交流の家について

01 大雪青少年交流の家とは

国立大雪青少年交流の家は日本最大級の面積を誇る「大雪山国立公園」にそびえたつ十勝岳山麓に位置し、その恵まれた自然環境の中で、グループや集団での自然体験、交流体験、芸術、文化体験など様々な体験活動を行うことができる青少年教育施設です。

当施設は、自然体験や集団宿泊体験などの体験活動や研修活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的としています。このため、利用にあたっては、団体ごとに活動計画を作成し、標準生活時間に基づいて活動していただきます。職員一同、次代を担う青少年の健全な育成を目指し、皆様の活動を、心を込めてサポートいたします。

大雪青少年交流の家が大切にしている「３つ」のこと

〇安全と健康

規則正しい生活が安全で、健康な生活をつくります。
早寝・早起き朝ごはんで、豊かな生活をつくります。

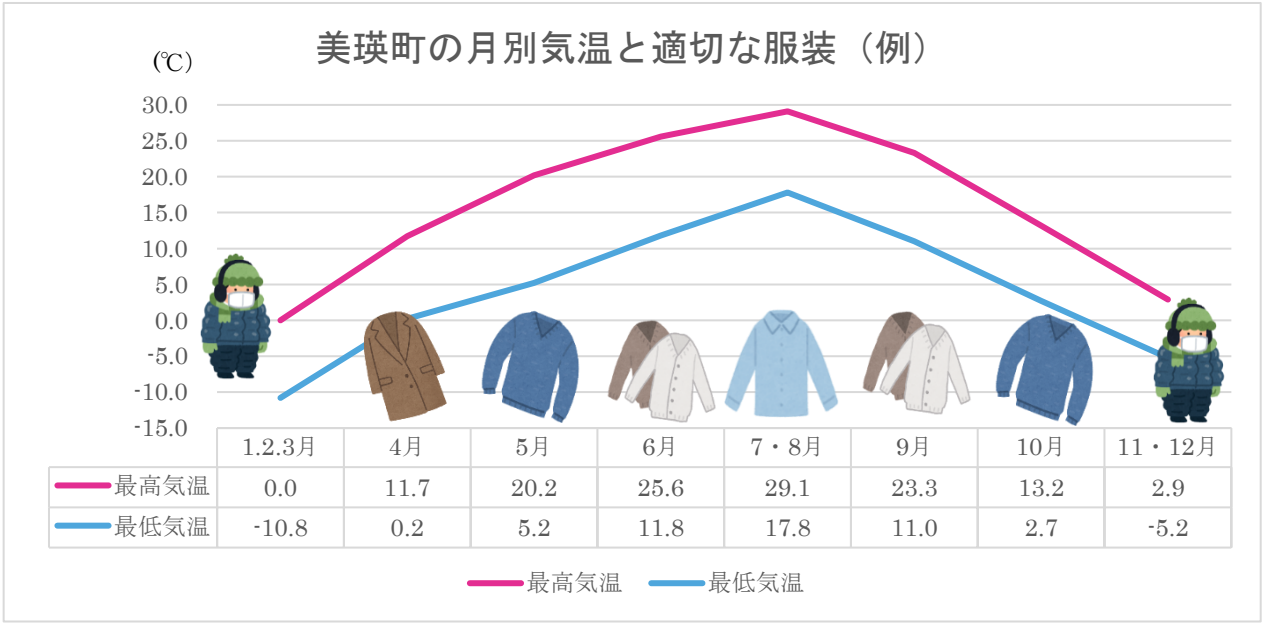
〇明るいあいさつ

あいさつはコミュニケーションのスタートです。出会った人との交流を楽しみましょう。

〇しっかり清掃

自分たちが使った施設を、次の人のためにきれいな状態でバトンタッチ。
「来た時よりも美しく」を合言葉に、思いやりの輪を広げましょう。

当施設がある美瑛町は、北海道のほぼ中央に位置し、なだらかに丘が広がる美しい自然景観を有しています。寒暖の差が激しい内陸性気候であり、夏は 30 度を超えることもある一方で、冬はマイナス 20 度以下にもなります。そのような四季の移り変わりを楽しむことができる点も、魅力の一つです。



	1.2.3月	4月	5月	6月	7・8月	9月	10月	11・12月
最高気温	0.0	11.7	20.2	25.6	29.1	23.3	13.2	2.9
最低気温	-10.8	0.2	5.2	11.8	17.8	11.0	2.7	-5.2

標高 600 メートルを超える位置に建つ施設のため、平地よりもさらに寒暖の差の激しい環境の中で、美しくも厳しい自然を体感しながら、活動を行うことができます。

02 利用について

（１）利用できる団体

当施設は、学校・青少年団体・サークル・企業などをはじめ、家族や友人などの少人数のグループでもご利用いただけます。社会性・公共心育成のため、食事の配膳・片付け、寝具の準備・返却、宿泊棟や活動した部屋の清掃等は、利用者に行っていただくこと、標準生活時間に沿った活動を組んでいただくなど、施設独自の生活・時間があることをご理解の上、お申込みください。

（２）利用形態

宿泊利用、日帰り利用が可能です。

（３）利用目的

当施設の施設・設備を利用して様々な活動ができます。目的に合わせた研修プログラムを提供いたします。

〇集団宿泊研修、自然体験、生活体験、文化体験、奉仕体験、オリエンテーション、新入社員研修、リーダー研修、修学旅行、スポーツ、レクリエーション等
〇ゼミナール、サークルの合宿、部活動、勉強合宿、仲間づくり、親睦活動、ボランティア活動等

なお、活動内容として、政治的活動、宗教的活動を行うことはできません。

（４）休館日

年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）（12 月 28 日が退所日である場合は利用可）の他、施設点検・整備等のため休館日を設けており、利用できない場合があります。

詳しくは HP にてご確認ください。

～交流の家送迎バス 大型バス（４１人乗り）の利用について～

〇送迎バスを希望する団体は、「バス利用希望申請フォーム」にてお申込みください。
〇原則、**団体の人数が 15 名以上の場合**に、送迎バスのご利用ができます。
〇原則、交流の家から概ね 1 時間以内（片道 50 キロ）の運行とし、
交流の家出発時刻が 8 時 30 分以降、交流の家到着時刻が 17 時 15 分以前の運行となります
〇以下の期日までに「バス利用希望申請フォーム」へご入力ください。他団体と調整し、期日と同月の１０日頃を目途に運行を決定します。提出期日を過ぎた申請については、運転手の手配が可能場合のみ受け付けます。

利用開始日	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
提出期日	2 月 1 日	5 月 1 日	8 月 1 日	11 月 1 日

〇交流の家と目的地以外の、途中乗車・降車はできません。
〇令和８年度より運行料金を徴収いたします。詳細はＨＰをご確認ください。
〇申込フォームは、右記二次元バーコードもしくは当施設ＨＰから申請してください。
〇宿泊利用に係る入退所の運行を優先し、当施設が活動プログラムとして定める活動場所への運行は、研修プログラム調整時に合わせて調整し、運転手の手配が可能な場合のみ受け付けます。

交流の家イメージキャラクター
【たびうさぎ】の紹介



「たびうさぎ」は、開所 50 周年にあたる 2016 年に、北海道にお住まいの小学生～高校生を対象とした公募によって、313 にも及ぶ候補の中から選出され、誕生しました。十勝岳連峰に生息する「ナキウサギ」をモチーフとしたキャラクターで、各地を巡りながら多くの人との出会いや交流・体験を重ね、成長していく「旅（たび）」の意味が込められています。また、十勝岳の麓に位置する当施設をイメージし、【美瑛富士・美瑛岳・十勝岳】の形をした帽子には、「ＳＩＮＣＥ1966」の文字が刻まれています。また、リュックサックには所章が描かれています。

当施設の広報大使として皆様とともに体験の風をおこすために日々邁進していきます。どうか、皆様のお力添えや温かい応援のほど、よろしくお願いいたします。

色々な場所を旅して、みんなに会いに行くよ！よろしくね♫
みんなで大きな体験の風をおこそう！

Ⅱ. 利用に必要な手続き

01 受付開始の時期

原則、利用開始日の **1 年前～40 日前**までに申込みください。
※詳しくは電話・メール等でお問い合せください。



02 利用申込手続きの流れ

利用申込の受付

電話・メール・WEB にて空き状況を確認してください。
宿泊施設の空き状況の確認ができたら、原則、**40 日前**までに WEB にて予約をしてください。（利用人数・活動目的等）
当施設からの予約完了メールをもって予約完了となります。

※当施設ＨＰから宿泊施設空室状況の確認・予約ができます。

※空室状況はこちら

※利用申込書の様式は、当施設 WEB サイトからダウンロードできます。

利用申込書等の提出

利用が可能な場合は、受付を進めます。
以下の書類をメールにて提出してください。

○必ず提出する書類（４種類）
①利用申込書　②宿泊利用者等名簿　③利用計画書
④食事申込書（レストラン食・お弁当・野外炊事）

○必要に応じて提出する書類（３種類）
⑤アレルギー連絡表
⑥登山・軽登山・ジオハイキング計画書_利用確認書_活動報告書
⑦プログラム材料申込書
⑧施設使用料金に係る一部免除申請書

＜お願い＞
期日内に提出していただいた申込書を元に、他団体との活動場所や時間などの調整を行います。期日まで提出ください。

～提出期限～

①利用申込書
③利用計画書
④食事申込書
⇒ **利用日の 40 日前まで（必着）**

②宿泊利用者等名簿 **⇒上記と同様**
４０日前を過ぎる場合は確定後速やかに

⑤アレルギー連絡表
⑦プログラム申込書
⑧一部免除申請書
⇒ **２週間前まで（必着）**

⑥ 登山・軽登山・ハイキング計画書_利用確認書_活動報告書 ⇒ **決まり次第**

※「登山計画書」のみ、必ず北海道警察旭川方面本部地域課にも提出する（ＦＡＸ）

利用に関わる事前打合せ

より充実した活動計画を作成するため、研修プログラム相談、施設見学や、事前踏査等の事前相談・打合せを行っています。希望団体は、事前に**当施設 HP か右の二次元コードから申込フォームにて打合せ希望日時を予約**してください。

調整プログラム等の受領

利用申込書の受理後、他団体とのプログラム調整のため、当施設の担当者から連絡があります。
（宿泊棟の割当や研修場所、研修時間等の利用に関わるお知らせや調整プログラムなどを送付します。）

※他団体との調整になりますので、活動場所の割り当てがご希望に添えないことがございます。
また、宿泊棟の割り当ても複数団体で１棟を利用していただく場合がございます。（棟内のトイレ・洗面所が共用になります）調整時にご相談いたしますが、必ず内容を確認してください。

書類提出先　○国立大雪青少年交流の家
〒071-0235 北海道上川郡美瑛町字白金　TEL:0166-94-3121　FAX:0166-94-3223
MAIL： taisetsu-suishinshitsu@niye.go.jp
○北海道警察旭川方面本部地域課　FAX:0166-31-4171　※「登山計画書」のみ

03 利用料金について

（１）施設使用料（全て税込）

○宿泊利用※令和８年４月１日より定額料金を廃止いたします。

対象	施設使用料	備考
幼児（年少以上）※1	300 円/泊	
子ども（小学生～高校生）※2	600 円/泊	
大人（学生）※3	1,200 円/泊	
大人（18 歳以上）	2,500 円/泊	
要保護・準要保護世帯利用※4	300 円/泊	
特別な配慮が必要な子ども向けの活動を行う団体利用※5	300 円/泊	大人も対象になる可能性有※6

幼児（年少未満）の利用の場合、施設使用料は無料です。

○冬期（10 月 1 日～4 月 30 日）は、**上記とは別に、冬期施設維持費として「200 円/人・泊」を徴収**いたします。

（例）

2 名が 1 泊 2 日する場合：2 名×200 円×1 泊＝400 円

10 名が 2 泊 3 日する場合：10 名×200 円×2 泊＝4,000 円

※1　①幼稚園・保育園等の在籍を問わず、当年度 4/2～翌年度 4/1 の間に 6 歳に到達する者までが対象。

※2　①高校に相当する学校（専修学校高等課程等）に在籍する者が対象。
②上記①に該当しない場合、当年度 4/2～翌年度 4/1 の間に 18 歳に到達する者までが対象。

※3　①大学に相当する学校（大学校・短大・専修学校専門課程等）に在籍する者が対象。

※4　①部活・サークルを含む学校利用が対象。
②小～高を想定しているが、就学前の子ども達に帯同する大人も適用。
③利用にあたっては、「施設使用料金に係る一部免除申請書」の提出が必要。

※5　①経済的に困難な子どもを支援する団体や障害のある子どもを支援する団体等。
（ただし、当該活動に対して自治体から公的支援を受けている場合を除く。）
②利用にあたっては、申請書の提出が必要。※一部免除の可否については、要相談。

※6　①子どもたちに帯同する場合または、子どもたちの活動の下見の場合が対象。

○講師棟使用料（全て税込）

一人一泊につき、1,220 円…※施設使用料とは別にかかります。

○日帰り利用※利用単位は午前・午後

研修室名	利用団体区分　青少年		利用団体区分　一般	
体育館・講堂	6 月～9 月	5,300 円	6 月～9 月	8,000 円
	10 月～5 月	10,500 円	10 月～5 月	15,800 円
クラフト館・武道館 第１～６研修室・音楽談話室 視聴覚室・多目的研修室 談話棟１階・野外活動棟 野外炊事場	6 月～9 月	2,100 円	6 月～9 月	3,200 円
	10 月～5 月	4,200 円	10 月～5 月	6,300 円
第７・８研修室 ミーティングルーム	6 月～9 月	1,100 円	6 月～9 月	1,700 円
	10 月～5 月	2,100 円	10 月～5 月	3,200 円
パークゴルフ場・グラウンド テニスコート・森の遊び場	6 月～9 月	1,100 円	6 月～9 月	1,700 円
	10 月～5 月	2,100 円	10 月～5 月	3,200 円

（２）食事料金※1（全て税込）

		中学生以上	小学生	３歳以上・未就学児	２歳以下
レストラン食	朝　食	630 円	550 円	430 円	無　料
	昼　食	760 円	670 円	520 円	
	夕　食※2	980 円	860 円	650 円	
	合　計	2,370 円	2,080 円	1,600 円	
お弁当 ・ 飲み物 ※小分けの袋なし	パンセット	500 円	*パン２つ、飲料水		
	おにぎりセット	600 円	*おにぎり２つ、飲料水 携行食（ベビーチーズ、魚肉ソーセージ）		
	コンビニ弁当	900 円	*季節により、内容が変更になります。　※飲み物なし		
	水	130 円			※ペットボトル
	ソフトドリンク	180 円	お茶、スポーツドリンク		
野外炊事食 （一人当たり）	カレーライス	600 円	米、玉ねぎ、人参、じゃがいも、豚肉、福神漬 調味料（ルー、食用油）		

※1 食事料金や野外炊事の食材は予告なく変更する場合がありますので、HP で確認ください。
※2 令和８年４月から、夕食のみプラス一品メニューが注文できます。（１セット５人前　１，５００円）
食事申込書にてご注文下さい。メニュー内容等、詳細については、当施設 HP のレストランページをご確認ください。

○食数変更・キャンセル等について

★レストラン食★

【食数変更・キャンセルについて】

・**各食 20 食に満たない変更は、キャンセル料徴収の対象外です。**

・ただし、各食 20 食（合計）を超える場合の数量変更、キャンセルについては、下記のとおりです。

○利用の初日の 3 日前の 15 時まではキャンセル・数量変更⇒キャンセル料は発生しません。

○利用の初日の 3 日前の 15 時以降～2 日前の 15 時までのキャンセル・数量変更⇒50%徴収。

○利用の初日の 2 日前の 15 時以降～当日のキャンセル・数量変更⇒100%徴収。

※上記キャンセル期限を過ぎてからの利用日程の短縮や別日程への変更に伴うキャンセルについてもキャンセル料徴収の対象となります。

※天災などの影響によるキャンセルは、キャンセル料徴収の対象外です。

<table>
<tr><td rowspan="2">区分</td><td colspan="5">ご利用初日を基準日とする</td></tr>
<tr><td>7 日前
15 時まで</td><td>7 日前
15 時以降</td><td>3 日前
15 時以降</td><td>2 日前
15 時まで</td><td>2 日前
15 時以降</td></tr>
<tr><td>食堂食（20 食～）</td><td rowspan="3">料金不要</td><td rowspan="2">料金不要</td><td colspan="2" rowspan="2">料金の 50%</td><td rowspan="2">料金の全額</td></tr>
<tr><td>野外炊事（20 食～）</td></tr>
<tr><td>弁当・飲料水（1 食～）</td><td colspan="3">料金の全額</td></tr>
</table>

【入所後の食数変更期限について】

区分	朝食	昼食	夕食
レストラン食（1 日目）	－	当日の 10：00	当日の 12：00
レストラン食（2 日目以降）	前日の 17：00	当日の 7：30	当日の 12：00

※大幅に人数が増減する場合は、上記変更期限に限らずお早目にご連絡ください。

※各食 20 食以上の変更（減）がある場合は、キャンセル料の対象となります。

【留意事項】

・利用日の 1 回の提供食数が 10 食に満たない場合、食事の提供ができません。

・**利用人数が少ない時に（10 食以上 29 食以下）は、盛付食での提供になります。**

・レストラン食のみアレルギー対応が可能です。

★野外炊事★

【食数変更・キャンセルについて】

・**各食 20 食に満たない変更は、キャンセル料徴収の対象外です。**

・ただし、各食 20 食（合計）を超える場合の数量変更、キャンセルについては、下記のとおりです。

○利用の初日の 3 日前の 15 時まではキャンセル・数量変更⇒キャンセル料は発生しません。

○利用の初日の 3 日前の 15 時以降～2 日前の 15 時までのキャンセル・数量変更⇒50%徴収。

○利用の初日の 2 日前の 15 時以降～当日のキャンセル・数量変更⇒100%徴収。

【留意事項】

・5～60 食まで注文することができます。

★お弁当、飲み物★

【食数変更・キャンセルについて】

・**利用**初日の 7 日前 15 時以降～のキャンセル・数量変更⇒100%徴収。

※各食あたり、1 食の数量減少からキャンセル料徴収の対象となります。

【留意事項】

・お弁当を注文する際は、同一の商品のみとし 10 食以下は注文することができません。

・当日 7：30～8：30 又は 10：30～11：30 の間でレストランでの受け渡しとなります。

※パンセットは、前日夕方の受け渡しが可能です。

・お弁当、飲料には、小分け用の袋は付いておりません。また一括での受け渡しのため、小分けにする場合袋をご準備の上、団体内で袋詰め作業等をお願いいたします。

★Q＆A★

Ｑ１．食事・野外炊事のキャンセル料がかからない期限はいつですか？
Ａ１．「入所日より 3 日前の 15 時まで」にご連絡いただければキャンセル料は発生しませんが、食品ロスを防ぐためにも可能な限りお早目にご連絡ください。
また、入所後の食数変更期限については、前項の表をご確認ください。

Ｑ２．各食 20 食以上は具体的にどのようなパターンですか？
Ａ２．朝・昼・夜を合算して 20 食以上ではなく、朝・昼・夜それぞれの食数変更が対象となります。
例）5/25　夕食 20 食減⇒キャンセル料の対象
5/26　朝食 18 食減⇒キャンセル料の対象外
5/26　昼食 2 食減⇒キャンセル料の対象外

Ｑ３．「入所日より 3 日前の 15 時以降」に夕食 18 食分を減らす変更をしたが、当日に急遽 2 名が体調不良となり、夕食が更に 2 食キャンセルとなった場合は、キャンセル料がかかりますか？
Ａ３．この場合は、18 食分は 50%、2 食分は 100%のキャンセル料が発生します。

Ｑ４．25 食分のキャンセルをした場合、キャンセル料の対象となるのは 5 食分のみですか？
Ａ４．いいえ、5 食分のみではなく 25 食分がキャンセル料の対象となります。

（３）洗濯料（全て税込）吐しゃ物や血液等で寝具類を汚損した場合に徴収いたします。

寝具名	単価
ベッドパット	1,400 円
敷布団	4,400 円
羽毛掛布団	5,300 円
布団カバー	450 円
網付き布団カバー	450 円
毛布	1,000 円
枕	900 円
マットレス	5,800 円
寝具（シーツ）	250 円
寝具（枕カバー）	50 円
寝具（ボックスシーツ）	400 円
寝具（マットレスカバー）	700 円

（４）活動費（全て税込）

【屋外活動】　※指導料は、職員が一人ついた場合の金額です。

品名	単価
野外炊事 ※１グループ（４～10 人）につき、薪（ガスボンベ）が２セット必要となります。	・薪（500 円/２kg） ・ガスボンベ（300 円/本）※荒天時のみ
野外炊事消耗品セット ※必要に応じて、購入してください。 ※セット内容は仕入れ状況に応じて変更になる場合があります。 ※バラ売りには対応していません。	・基本セット（3,500 円）※セット内容 食器用洗剤（3 本）、食器用ふきん（10 枚）、スポンジ（5 個）、 クリームクレンザー（3 本）、台ふき（10 枚） 金だわし（10 個）、キッチンペーパー（100 枚×5 個） ・スプーンセット（250 円）（10 枚/セット） ・カレー皿セット（300 円）（10 枚/セット）
軽登山（ウグイス谷～渓流広場往復）	★指導料（4,000 円）　※職員が同行する場合のみ
軽登山（ウグイス谷～望岳台～白金コース）	★指導料（10,000 円）※職員が同行する場合のみ
軽登山（原生林～望岳台～白金コース）	★指導料（11,000 円）※職員が同行する場合のみ
軽登山（ウグイス谷～望岳台）	★指導料（6,000 円）　※職員が同行する場合のみ
軽登山（原生林～望岳台）	★指導料（7,000 円）　※職員が同行する場合のみ
大雪の森ジオマップハイキング （小松原森林コース）	★指導料（4,000 円）※指導依頼
大雪の森ジオマップハイキング （マグマ越えコース）	★指導料（6,000 円）※指導依頼
大雪ジオマップハイキング （ショートコース）	★指導料（2,000 円）※指導依頼
キャンプファイヤー	・セット一式（薪、灯油、トーチ等）（2,000 円）
スノーシュー	★指導料（3,000 円）※職員が同行する場合のみ ・レンタル料（スノーシュー、ストック）（500 円）
大雪ネイチャースキー （クロスカントリースキー）	★指導料（3,000 円）※職員が同行する場合のみ ・レンタル料（板、ストック、ブーツ）（500 円）
簡易トイレ	ハイキング系活動の時に希望に応じ提供。 使用した場合、1 個につき 650 円

【屋内活動】

品名	単価
七宝焼き	・キーホルダー（四角）750 円/個 ・ストラップ（丸形、ハート形）700 円/個 ★指導料（3,000 円）※指導依頼必須
焼き板クラフト	・焼き板 300 円/枚
プラ板クラフト	・プラ板 150 円/セット（１セット 3 枚）
アロマキャンドル	・200 円/セット（１セット 2 個）
レザークラフト	・長角型　250 円/個 ・ストラップ型　550 円/個
缶バッジ	・150 円/セット（１セット個）
マイスプーン作り	・スプーン 300 円/本 ★指導料　3,000 円　※指導依頼必須
キャンドルファイヤー	・キャンドル（14cm）20 円/本 ・キャンドル（10cm）10 円/本 ・キャンドル（大）500 円/本
コミュニケーショントレーニング	★指導料　3,000 円　※指導依頼
アイスブレイク	★指導料　3,000 円　※指導依頼

※活動プログラムの内容については、「活動プログラム一覧」をご覧ください。

【物品貸出料】

品名	単価　１セットあたり
フロアカーリング	2,000 円/日
キンボールスポーツ	1,000 円/日
ユニホック	1,000 円/日
ユニカール	1,000 円/日
ティーボール	1,000 円/日
フライングディスク・ストラックアウト	1,000 円/日
室内ペタンク	1,000 円/日
アジャタ	1,000 円/日
ラダーゲッター	1,000 円/日
５色綱引き	1,000 円/日
グラウンドゴルフ	1,000 円/日
ソフトラクロス	1,000 円/日
ボッチャ	1,000 円/日
モルック	1,000 円/日
スノーチューブ	500 円/日
ソリ	100 円/日
焚火台	500 円/日

※活動開始時、終了時に器具の点検を実施しますので、立ち会いをお願いします。

【印刷】

品名	単価
コピー代	白黒：A4・A3⇒1 枚 10 円 カラー：A4⇒１枚 50 円、A3⇒１枚 80 円

Ⅲ. 交流の家での生活

01 標準生活時間

当施設では、ご利用する団体同士が気持ちよく生活したり活動したりするために１日の基本の生活時間を設定しています。利用期間中は、ゆーすぴあタイムへの参加や、決められた食事・入浴・就寝などの時間を守り、規則正しい生活を送りましょう。

6:30	7:15	7:30	9:00	12:00	13:30	16:45	17:00	17:20	19:00	22:00	22:30
起床	清掃	身支度	朝食	プログラム活動	昼食	プログラム活動	リーダー会議	ゆーすぴあタイム	夕食	プログラム活動	就寝準備	就寝
※清掃、点検 8：45～					温泉入浴 13：00～22：00						※22:30 消灯	

02 持ち物

・館内は土足厳禁のため**必ず上靴を持参**してください。
・その他、活動や宿泊に関して必要と思われるものをお持ちください。

03 入所について

○**９：００～１６：００の間に入所**してください。
○日帰り利用の利用時間は９：００～１６：００になります。
○事前に指定された玄関・下足箱をお使いください。
○車は本館奥の利用者駐車場をご利用下さい。（下図参照）
※夏季・冬季で場所が入れ替わりますので、ご注意ください。
○借り上げバスで来所の場合、正面玄関前での乗降車が可能です。



（１）入所時の受付（10～15 分程度）

○代表の方は、事務室で入所の手続きをしてください。
○受付時確認事項　・人数、研修プログラムなどの確認　・宿舎の鍵の受渡し
・料金の支払いに関しての確認　・生活のルールの確認　など

（２）入所式・オリエンテーション（５分～20 分程度）

○入所式等で、職員からのあいさつが必要な場合は、事前にお知らせください。
○オリエンテーションは、交流の家職員が、施設内での基本的なルールや生活の仕方などについて説明します。HP に掲載される資料や動画を使い、来所前に団体内で実施することも可能です。

（３）入室・シーツ受取

○シーツと枕カバーは、リネン室に団体毎に用意しています。**１５：００以降**に取りに行ってください。
○一人シーツ２枚、枕カバー１枚です。
○長期宿泊の場合、衛生面の理由から４泊目ごとにシーツ交換となります。
○**宿泊棟に入室できるのは、原則１５：００以降**となります。
（荷物置場や着替え場所として、１５：００以前に使用できる場合がありますので、ご相談ください。）

04 つどい（ゆーすぴあタイム※希望制）について

令和８年度より、つどいの参加は希望制となります。当施設を利用している団体同士の交流の場です。団体が１団体のみでもご希望がある場合、実施いたします。

【ゆーすぴあタイム】１７：００～
① 国旗・所旗の降納（旗係２名）
② 団体紹介（各団体から１名）
③ 職員からの話

〇つどいの開始前までに、掲揚塔に向かって団体毎に整列してください。
〇夏季（6 月中旬～10 月中旬）は、かんぽラジオ体操広場で行います。
　冬季（10 月中旬～6 月中旬）又は荒天時は、体育館で行います。
〇旗係の役割分担は、事前の調整の中で連絡します。
　係になった方は、開始１５分前にかんぽラジオ体操広場/体育館で打ち合わせを行います。

05 リーダー会議について

〇**１６：４５～**事務室で行います。各団体１名の出席をお願いします。
〇日程等の確認、体調不良者の有無、当施設からのお知らせなどを行います。
　※プログラムなどの都合で出席できない場合は、事前に連絡してください。その際は、事後に必ず事務室にお越しください。連絡事項をお伝えします。
〇翌朝８：３０までは警備員が勤務しております。
〇スケジュールの変更やプログラムの相談などは１７：００までにお願いします。

06 入浴について

〇入浴可能時間は、１３：００～２２：００です。
〇浴室は大/小（洗い場３８/２０）があり、**宿泊する男女の人数を考慮し、男女の入替**を行います。
　１日の中でも途中で浴室の大小の入替をする場合があります。
〇温泉に入浴できない方は、シャワー室をご利用いただけますので、ご相談ください。
　使用後は清掃をしていただきます。
〇浴室には、石鹸やシャンプー等を備えていません。各自でご用意ください。
〇ドライヤーは、各脱衣所に 2 台ずつあります。
　※宿泊室内はブレーカーが落ちてしまうため、ドライヤーの使用はできません。
　※宿泊棟各フロアにある洗面所では、各階２台まで使用することができます。
〇７歳以上または小学１年生以上の混浴はできません。

07 活動について

各団体の活動プログラムに沿って活動をしていただきます。天候の変化等による内容や活動場所の変更は、すみやかに事務室までお知らせください。

〇事前にお申込みいただいた各活動プログラムで使用する購入物品は、事務室でのお渡しとなります。
　使用する道具は、活動場所に用意しております。
〇指導依頼の活動プログラムで、**職員による指導を希望する場合は、**利用計画書に記入の上、**事前にご相談**ください。状況により、職員による指導が行えない場合があります。
　※職員の指導料の有無は、「活動プログラム一覧」でご確認ください。
〇野外活動等の際には、事務室で貸し出している無線機を携帯してください。緊急事態が起こった場合には、すみやかに本部である事務室と連絡を取り、指示を受けてください。
〇活動プログラムが終了したら、活動場所の整理整頓を行ってください。使用した用具の確認・返却及び清掃を行い、原状復帰に努めてください。

08 食事について

（１）レストラン「サーティ」の利用方法



～セルフサービス形式です～

盛り付けから片づけまで自分で行っていただく、セルフサービス形式です。利用人数が１０名以上２９人以下の場合は、盛り付け食での提供となります。

おかずコーナー

おぼんを１枚とって、お皿やはしをとります。
ビュッフェレーンに置かれた料理の大皿から、
各自が食べられる量をトングで盛り付けます。
品目によっては、個数制限がございますので表示をご確認下さい。



主食（ごはん・汁物・麺類）コーナー

ご飯は毎食、みそ汁は朝食時、麺類は昼食・夕食時の提供です。
各自で、しゃもじやお玉で盛り付けます。カレーが提供される場合、
カレーもこのコーナーにあります。



飲みものコーナー

カウンター近くのドリンクバーをご利用ください。（水やお茶もあります。）
牛乳（朝食時のみ）は、カウンター側に置いてあります。
盛り付けた食事を席に置いてから飲み物を取りに行きます。
※使用するカップは、一人１つまでにしてください。



食　　事

後片付け

① おぼんをもって、片付けレーンに行きます。
② はし、スプーンを所定の場所に入れます。
③ 食べ残しや飲み残したものをザルに入れます。
④ コップをかごに入れます。
⑤ ゴミを捨てます。
⑥ 食器を水槽に入れ、おぼんを台に置きます。
⑦ 布巾で使用したテーブルを拭き、椅子を元の場所に戻します。



（２）レストラン利用に関わっての注意点

〇座席数は、256 席です。（８席×32 テーブル）
〇食事時間は、利用団体の状況に応じて団体ごとに調整しています。
〇レストランの利用時間は、
朝食（７：３０～９：００）
昼食（１２：００～１３：３０）
夕食（１７：２０～１９：００）です。**営業時間内での利用をお願いします。**
〇レストランでは、団体ごとの座席指定は行っていません。団体同士で譲り合ってご利用ください。
規模の大きな団体で事前に座席の割り振りを希望される場合はご相談ください。
〇衛生管理上、**食事の前の手洗いを徹底**してください。
〇レストランで提供している食事や飲み物の**持ち出しやレストラン外からの食べ物の持ち込みは、原則禁止**です。特別な事情がある場合は、レストランスタッフにご相談ください。
〇食育の観点から、各自で食べられる量を考え、残食のないようにしながら、バランスよく食べることを推奨しています。指導者の方は、主食・副菜をバランスよく取るように指導してください。

（３）食物アレルギーへの対応について

〇レストランメニュー及びアレルギー情報については、当施設ホームページで公開しています。
（レストラン入口にも掲示されています。）
〇お弁当については、外部の業者に委託しておりますので、アレルギー対応はできません。
お弁当の内容やアレルギー情報については、**レストランに直接お問い合わせ下さい。**

◆基本は、普通食からの**除去**・**代替食**の対応です。
◆７大アレルギー（卵、乳、小麦、落花生、そば、かに、えび）のみ対応します。
◆団体の責任の下、自分たちで取り分ける場合には、以下の点に注意してください。
・ビュッフェ形式のため、**隣の料理が混入する可能性**があります。
アレルギーの程度によって事前に盛り付けておく必要があれば、ご連絡ください。
・揚げ油や調理器具など、**調理上のコンタミネーション（混入）があります**。
◆除去食品が多い場合や、アナフィラキシーショック等の重篤な症状を起こす可能性がある方は、**万が一の可能性を考慮し、止むを得ず対応をお断りする場合**があります。その場合は各自で食事をご持参ください。（詳しくはレストランにご相談ください）

〇アレルギーをお持ちの方の情報について、「食物アレルギー連絡表」に必要事項を記載の上、
ご利用の２週間前までに提出してください。
※２週間を過ぎると、食材調達・調理準備の都合上、対応ができない場合があります。
〇より詳細な情報を記入する「食物アレルギー事前確認表」の提出をお願いする場合があります。
持込み対応が必要な場合には、「持参品対応表」の記入もお願いします。
〇連絡表はできる限り、ご本人のアレルギー状況を把握している方（保護者、養護教諭など）に確認し、記入いただいた上で提出してください。
〇アレルギー事前連絡票の情報に従って、レストラン担当者から対応方法や詳細等をご相談します。

～利用当日の食事の提供方法～

◆食物アレルギーをお持ちの方の食事は、対応が必要な方とアレルギー状況を把握している方が団体の先頭に並び、レストラン職員にお声がけいただき、対応食を確認してください。
◆他の調理器具や盛り付け用の皿とは別に準備し、十分な消毒を行った上で、調理・盛り付けを行っています。調理作業も、他の食材が混ざらないよう、別の場所で専用の調理員が調理を行っています。

食物アレルギーに関するお問い合わせ【コンパスグループ・ジャパン（株）大雪店】
TEL:0166-68-1116　FAX:0166-68-1117　MAIL：21483@compass-jpn.com
※休館日又はレストラン利用のない日等、電話がつながらない場合があります。メールでご用件をご連絡ください。

09 生活環境について

（１）貴重品の管理

○**貴重品の管理は各団体の責任において行ってください。**
必要に応じ、コインロッカー（１００円コインリターン式）をご利用ください。
○研修等で宿泊棟を空ける場合は鍵をかけ、**施設の外に出る場合は、事務室に鍵を預けて**ください。
○安全管理上、**割り当てられた宿泊棟以外には入らないように**してください。

～落とし物について～

◆落とし物を発見した場合、事務室へ届けてください。
◆落とし物をした場合、事務室に届いていないか確認してください。
◆退所後に気付いた場合、当施設へお問い合わせください。返却は、当施設に取りに来ていただくか、宅配便（着払い）で対応します。
◆貴重品は一週間で警察へ届出し、その他のものについては、3 か月後持ち主が見つからなければ廃棄します。

（２）飲食・喫煙

○館内での飲食は、【ゆーすぴあホール】【本館３階ロビー】【宿泊棟内の談話室または談話コーナー】のみでお願いします。**廊下や宿泊室内での飲食は厳禁です（体育館や研修室での水分補給等は可）。**また、館内を含む敷地内では**ガムは禁止**です。
○飲食物を持ち込む場合は、事前にご相談ください**（生ものは不可）。**お弁当を持参して食事をする場合はご相談ください。
○**アルコールを含むミーティング等**を計画する場合は、**事前申請が必要**です。その旨を**利用計画書に記載**してください。また、実施の際は、以下の点を守って実施をしてください。

・研修の一環として認められる活動プログラムであるため、他団体への配慮をすること。
・危険防止のため、**飲酒前に入浴**すること。
・**１９：００～２１：３０**の間で実施をすること。
・**指定された場所**で行うこと。
・緊急時の対応のため、飲酒をしない方を決めること。（未成年を除く）

著しく常軌を逸していると判断される場合、実施が認められない場合もあります。
○館内は禁煙です。喫煙する場合は、本館１階外の喫煙室（プレハブ小屋）をご利用ください。
（**２２：００～６：３０まで施錠**されています。）

（３）ごみの処理・分別

○活動中に出たごみ、持参したお弁当のごみなど、分別されたものに限り交流の家で処分することができます。指定のごみ袋はありません。団体でまとめ、本館１階のごみ捨て場にお持ちください。
○交流の家でのごみ分別は、以下の４つに大別されています。

ペットボトル　・　空き缶　・　空きびん　・　その他のごみ

⇒**ペットボトルは必ずラベルとキャップを外し**、その他のゴミに分別してください



（４）暖房

○暖房が入る期間　⇒１０月１日～５月２０日【６：３０～２２：００】で、外気温が１３℃以下の場合。

○暖房が入る時間は、研修室及び宿泊棟の利用時間中のみとなります。

廊下や使用予定のない部屋は暖房が入りませんので、暖かい服装をご用意ください。

（５）健康管理

＜利用前の段階＞

・交流の家での医療行為・医薬品の提供はできませんので、救急薬品等は各団体でご用意ください。

＜滞在中の保健指導＞

・引率責任者は、**参加者の健康状態を把握**し、健康状態に異常のある方がいる場合、速やかに事務室へお知らせください。毎日のリーダー会議で、団体ごとの健康状態を確認します。

・感染症の拡大防止のため、嘔吐や下痢の症状が出た場合は、すぐ事務室へお知らせください。

（**嘔吐物は事務室にて処理キットをお渡ししますので団体内で対応ください。**）

感染症等が想定される場合は、別途指示いたします。

・事務室内にある「医務室」を利用することができます。その場合、**別途シーツ等洗濯料がかかります。**

・**AED** は事務室前と浴室前に**２台設置**されています。使用が必要な場合は、事務室までご連絡ください。

・冷却用の氷が入った製氷機は、ゆーすぴあホールにありますのでご自由にお使いください。

※他団体も使用しますので、適量でご利用ください。

アイシング用の氷嚢は、事務室でお貸しすることができます。

＜医療機関への連絡＞

・傷病人が出た場合は事務室に申し出てください。その後、各団体から医療機関へ連絡の上、搬送をお願いいたします。医療機関受診後、診断結果やその後の対応などを事務室にお知らせください。

（６）その他

○設備の破損や施設の物品を紛失した場合は、すみやかに事務室にご連絡ください。

場合によっては、弁償していただくことがあります。**（寝具類の汚損等についても同様です。）**

○館内放送は、緊急時連絡用です。団体の諸連絡目的では使用できません。また、外部からの電話の取り次ぎも行っておりません。外部からの電話があった場合は、内容をお伺いし、団体代表者又は連絡担当者の方にお伝えします。なお、館内に公衆電話はありません。

○自動販売機は、ゆーすぴあホールと浴室前にあります。（清涼飲料水・アイス・お菓子）

利用人数が多い場合、売り切れになることもありますので、事前にレストランに注文していただくか、団体で準備してください。

○両替の対応は行っておりません。

○荷物発送（原則、着払いのみ）、受取は事務室で受け付けます。

○宿泊棟には**無料で使用できる洗濯機/乾燥機**があります。割り当てられた宿舎の洗濯機をご利用ください。なお、洗剤はご持参ください。

○Wi-Fi を使用できる場所は下記の場所になっています。回線の状況によっては接続しづらい場合がありますので、ご了承ください。（場所：本館３階、本館２階第２～６研修室、本館２階ゆーすぴあホール、講師棟）

Wi-Fi 設置箇所については、研修利便性向上のため、研修室周辺のみ設置しております。

○館内を含む敷地内にペット等の動物を連れてくることはできません。ただし、補助犬等の場合は、事前にご相談ください。

○夜間対応については、宿直職員を置かず、警備員のみで対応する場合もあります。

10 宿泊に関わって

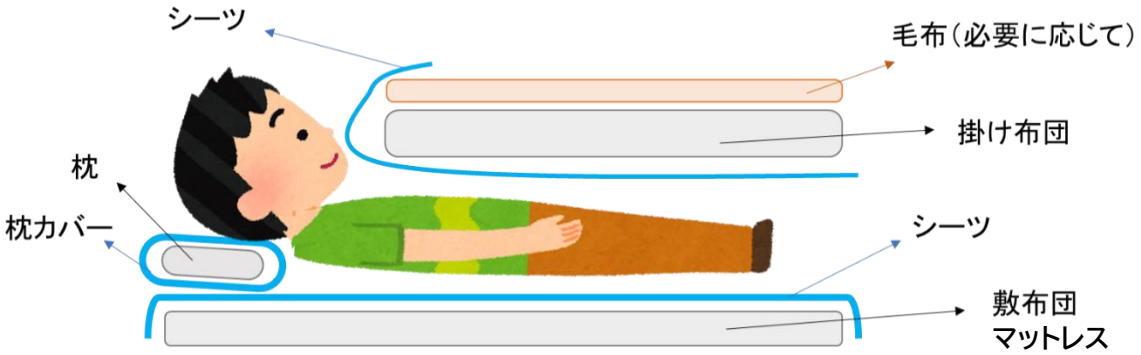
（１）寝具等の使用方法

〇宿泊棟の掛け布団は「羽毛」、毛布は「羊毛」、枕は「ポリエステル」を使用しています。

※**羽毛アレルギー対応としてポリエステルの布団**もあります。アレルギー対応が必要な場合は、**利用申込書とアレルギー連絡表にご記入の上、交換が必要な部屋をお知らせ**ください。対象の部屋の方は、個人でリネン室からアレルギー対応布団（ポリエステル布団）をお持ちください。

〇シーツ２枚、枕カバー１枚を一名分として用意しています。団体代表者又は連絡担当者がリネン室で枚数を確認して配布してください。

〇シーツ・枕カバーは、下図のように使用してください。



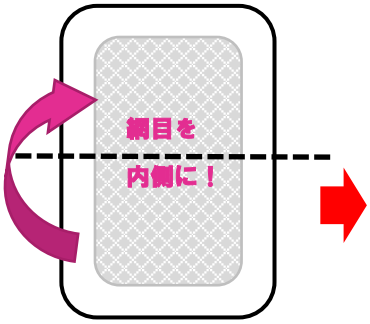
（２）寝具の整とん

ベッド室（A・C・D・E棟）の場合

※掛け布団・毛布は、たたむ前に粘着カーペットクリーナーなどを使って毛髪などを取り除いて下さい。

①掛け布団のたたみ方・戻し方

掛け布団は２つ折り
（１回たたむ）



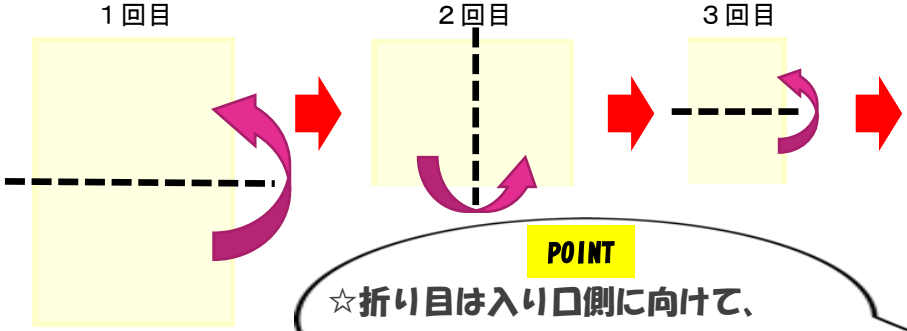
掛け布団は部屋の窓側に寄せる
※ベッドパットはたたまない



POINT
☆掛け布団の折り目は、入口側に向けましょう！
☆枕は、たたんだ掛け布団の真ん中に置きましょう！

②毛布のたたみ方・戻し方

毛布は８つ折り
（３回たたむ）



ハンガーかけの下に置いて
部屋の窓側に寄せる



POINT
☆折り目は入り口側に向けて、キレイにそろえて置きましょう！

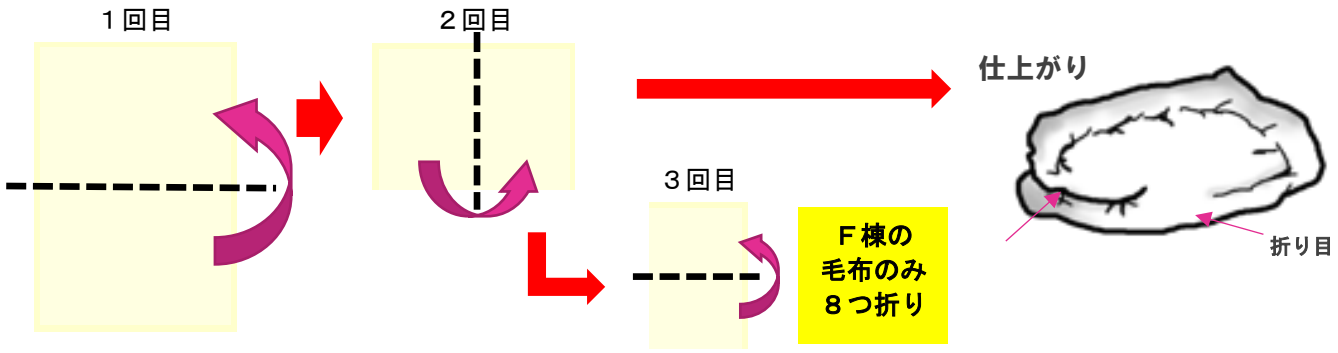




和室（B・F 棟、各棟談話室、談話棟、本館３階和室）の場合

※掛け布団・毛布の髪の毛は粘着カーペットクリーナーなどを使って取り除いてください。

①掛け布団、毛布のたたみ方
掛け布団・毛布は４つ折り（Ｆ棟の毛布のみ８つ折り）にします。**（掛け布団の網目は内側にします）**



② 片付け方





POINT

☆全員分の掛け布団、毛布の向きを揃えて入れる！
☆押入れを開けたとき、折り目が見える向きに入れる！
☆マットレスは、元あった場所に立てかける！

※部屋によって片付け方が違いますので、各部屋に掲示してある写真を参考にしてください。

（３）講師棟について

① 講師棟のご利用は団体の指導者・引率者等に限ります。なお、安全管理のため団体の宿泊棟に指導者が一人以上宿泊するようお願いいたします。
② シーツ・枕カバーは、お部屋のベッドに置いてありますので、ご利用ください。
③ ユニットバスが１階にあります。部屋清掃の関係上、最終日のご退室は午前９時までにお願いします。なお、使用後は次の方のために、バスタブ等を軽く洗ってください。
※講師棟宿泊者のみが利用できます。
④ 講師棟２階ロビーに、アメニティグッズを配置してありますのでご利用ください。
なお、講師棟宿泊者以外の方は使用できません。

種類	置いてある場所	返却場所	備考
歯ブラシ	講師棟２階棚	―	１人１日１個
フェイスタオル ・バスタオル		講師棟２階 返却ボックス	１人１日１セット
シャンプー・リンス・ ボディーソープ		講師棟２階棚	退所時に返却する棚に ご返却ください。

⑤ 講師棟２階ロビーの冷蔵庫は、ご自由にお使いください。なお、取り間違える可能性がありますので、団体名を書くなどの対応をお願いします。
⑥ 退室時は、以下についてご協力ください。
・シーツ・枕カバーは、本館２階ゆーすぴあホール内リネン室のランドリーボックスへたたまず１枚づつ入れます。
・使用済バスタオルは講師棟２階ロビー返却ボックスへ入れます。（フェイスタオルは持ち帰り可）
・鍵を事務室に返却します。
⑦ 講師棟内では、Wi-Fi を整えております。

（４）清掃について（部屋点検）

原則、退所日の朝８：４５以降の指定した時間に、職員による点検を行います。
活動プログラムの内容上、点検の時間帯に変更が必要な場合は、事前にご相談ください。
また、団体の要望に合わせてセルフチェックも実施しています。

～出発日の起床から部屋点検までの流れ～

６：３０～　起床・身支度、寝具整頓、荷物移動・シーツ返却

○毛布・布団などの髪の毛は、カーペットクリーナーなどで取り除いてからたたんでください。
○シーツは、リネン室のランドリーボックスへたたまず、入れてください。
※血液等で汚れてしまった場合は特殊洗濯が必要ですので、
ランドリーボックスには入れず、必ず事務室へご連絡ください。
○事前に指定された場所に荷物を移動してください。（整頓して置いてください。）

７：１５～　さわやかタイム

７：３０～　朝　食

宿舎清掃

「清掃要領」を確認しながら、以下の場所の清掃を行ってください。
【宿泊室、洗面所、トイレ、宿泊棟前廊下・階段】+ごみ箱の処理、清掃用具のごみ処理
※宿泊していなくても、使用した部屋は点検対象となります。

団体内でのチェック（引率者による清掃点検、忘れ物確認）

必ず、引率者や指導者が団体内で宿舎に掲示してある清掃点検表の項目を確認してから、職員による部屋点検を受けてください。

８：４５～　宿舎点検（職員立ち合いによる）

○団体ごとに指定された時間に職員がお伺いします。
○宿泊棟ごとに数名残り、点検の立ち合いをお願いします。
○点検に残る方以外は、次の活動場所やゆーすぴあホールなどで待機してください。
○点検後、施錠をせず部屋の鍵を事務室に返却してください。

11 退所について

（１）退所時の手続き（１０分程度）

○代表の方は、**退所日の８：５０以降**に、事務室で退所の手続きをしてください。
入所時にお渡ししたファイルと以下の書類を記入の上、お持ちください。請求書を発行します。
① アンケート用紙　②宿舎の鍵　※貸し出ししている場合のみ

（２）退所式

○退所式を実施される団体で、職員からのあいさつが必要な場合は、事前にお知らせください。
○退所日は、**原則１６：００**までに退所するようにしてください。

（３）支払手続きについて

○支払手順
①「施設使用料」等の請求書を事務室で発行します。
②「施設使用料」等の請求書を持って、レストラン精算所で支払い手続きを行ってください。
※「食事料金」の請求書はレストラン精算所で発行されます。

●支払方法
【当日払い】・現金払い→レストラン精算所での支払い。
・キャッシュレス決済→下記サービスをご利用いただけます。
【後日払い】・銀行振込、コンビニ払→請求書を発行しますので、指定された口座にお振込みください。
（請求書発行から１ヶ月以内にお振込みください）
※現金以外の支払方法で発生する手数料は、団体で負担していただきます。

○レストラン精算所営業時間
・８：４０～１１：３０　・１３：００～１６：００　・１８：３０～１９：００

○その他
・個人での支払いには対応できません。団体でまとめてお支払いください。
・また、団体内で清算を別にしたい場合や領収書を別にする必要がある場合は、
必ず事前にお知らせください。

利用可能なキャッシュレス決済

【カード決済】



【コード決済】



【電子マネー】



12 安全管理について

宿泊室、活動施設では、近くの避難通路・非常口を確認してください。

（１）火災

【火災警報装置などによる警報がなった場合】

・館内放送または職員からの指示に注意し、いつでも避難できるように備えてください。

【火災発生の放送が入った場合】

・館内放送または職員からの指示や、団体引率者の指示に従って、慌てずに避難してください。

【火災を発見した場合】

・近くの火災通報装置で通報を行い、慌てずに避難してください。

・火災の発生場所によって、一次避難場所（①かんぽラジオ体操広場　②正面玄関（階段下）が変わりますので、館内の放送に従ってください。

（２）地震

〇地震が発生した場合は、以下のような身を守る行動をとり、館内放送または職員からの指示に従ってください。

屋内……窓ガラス・壁際から離れ、頭を守ってかがんでください。

屋外……建物等から離れ、頭を守ってかがんでください。

〇余震が続く場合がありますので、一時活動を中止し、館内放送・職員の指示に従って行動してください。

〇緊急地震速報の速報が入った場合は、館内放送・職員の指示に従って、地震の発生に備えてください。

（３）十勝岳の噴火

〇緊急火山情報等が発令された場合は、利用者の受け入れを停止することがあります。

〇十勝岳の活動は「レベル１」（活火山であることに留意。噴火の兆候はない）で推移していますが、宿泊中にレベル３（小・中規模噴火活動等）以上の噴火警報が発令された場合は、職員から緊急連絡を行います。

（４）野外活動における安全対策

〇計画をする上で、**無理のない活動プログラムを選択**してください。（時間・人数・発達段階　など）

〇**自然環境**や**気象条件**をしっかりと把握してください。熱中症などのリスクが考えられます。

〇事前に**実地踏査**を行い、危険個所の確認や休憩場所、引率者の配置場所などを確認してください。

〇引率者の役割分担や**救急連絡体制を明確に**しておいてください。

〇**野生動物の生息地**ということを忘れずに行動してください。

～出会うと危険な動物～

①ヒグマ

北海道にはヒグマが生息しており、当施設付近もクマの生息地です。遭遇する事故を未然に防ぎ、クマと共存していくことが大切です。

☆音を出したり、声を出してあるいたりして人間の存在を知らせ、出会わないようにする。

☆出会ったら…慌てず騒がず、クマを刺激しないように静かにし、その場を立ち去る。

無線機やクマ鈴、クマ撃退スプレーを貸し出しますので、活動前に事務室にお越しください。

②ダニ（マダニ）

大きさ２～３ミリ程度でササやぶなどに生息しています。近くを通る人間などに取りつき、皮膚に食い込み、血を吸います。ウィルス・細菌なども体内に送り込まれることがあるので危険です。

☆長袖・長ズボンで肌を出さない服装をする。首回りもタオルなどで隠すと効果的。

☆活動後は、服や首などに付いていないか、グループでお互いに確認する。

☆刺されたら…自分で引き抜かず、医療機関（皮膚科）で処置してもらう。

③ハチ

北海道において刺される被害は特に８～９月に集中しています。特に、オオスズメバチ・キイロスズメバチは攻撃性が強く、刺された部分は激痛をともなって腫れ上がり、場合によっては呼吸困難になったり、最悪ショック死したりする場合もあります。

☆長袖・長ズボン着用で、肌を露出しない。

（黒いものに反応するため、白系や明るい色の服装を身に付け、帽子も着用する。香水やヘアスプレーなどもハチを刺激するため、付けないようにするのが望ましい。）

☆出会ったら…動くものに敏感ため、追い払おうとせず、身を低くしその場から静かに立ち去る。

☆刺されたら…きれいな水で患部を洗い流し、毒液をポイズンリムーバーなどで吸い出す。
虫さされの薬（抗ヒスタミン剤ステロイド軟こう）をぬり、速やかに病院の診察を受ける。

※クマ・ハチ・ダニに関する情報がありましたら、すぐに事務室まで連絡してください。

13 関係機関連絡先

	関係機関	電話番号
レストラン	大雪青少年交流の家レストラン 【コンパスグループ・ジャパン（株）】	０１６６−６８−１１１６
医療機関	美瑛町立病院	０１６６−６８−７１１１
	救急医療情報案内センター	０１２０−２０８−６９９
	救急医療情報案内センター（携帯電話から）	０１１−２２１−８６９９
公共機関	旭川東警察署	０１６６−３４−０１１０
	美瑛交番	０１６６−９２−２０３６
	美瑛消防署	０１６６−９２−２０２９
	美瑛郵便局	０１６６−９２−１１３２
	美瑛町役場	０１６６−９２−１１１１
	森林管理署　美瑛事務所	０１６６−９２−２０６３
観光	美瑛町観光協会	０１６６−９２−４３７８
	びえい白金温泉観光組合	０１６６−９４−３０２５
	道の駅「白金ビルケ」	０１６６−９４−３３５５
	旭川空港観光案内カウンター	０１６６−８３−３７１６
交通機関	JR 美瑛駅	０１６６−２２−１８５４
	旭川駅（電話案内センター）	０１６６−２２−１４４１
	道北バス（旭川）	０１６６−２３−４１６１
	美瑛ハイヤー	０１６６−９２−１１８１
	旭川空港ターミナル	０１６６−８３−３９３９
その他	十勝岳火山砂防情報センター	０１６６−９４−３３０１
	白金野営場（美瑛町経済文化振興課）	０１６６−９２−４３２１
	丘のまち郷土学館「美宙」	０１６６−７４−６１１６

○国立大雪青少年交流の家では、「子供の頃の体験は豊かな人生の基盤」となる
「体験の風をおこそう」運動、「早寝早起き朝ごはん」国民運動、
青少年の豊かな感性や表現力を育む「子供の読書活動」を推進しています。

○交流の家についての最新情報は、ホームページをご覧下さい。
利用申込書等、各種資料等のダウンロードもできます。
ホームページ　https://taisetsu.niye.go.jp/

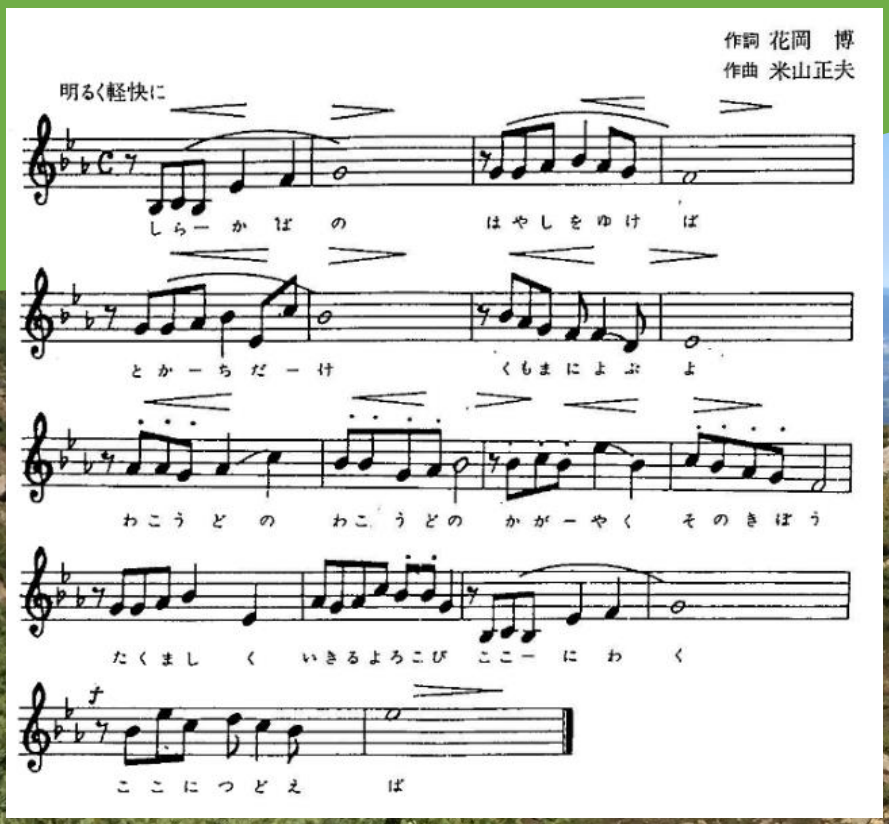
検索　国立大雪青少年交流の家

○交流の家 Facebook や Instagram でも、教育事業の募集など、最新情報をお届けしています。
ぜひ「いいね！・フォロー！」をしてくださいね。

TAISETSU1966

国立大雪青少年交流の家　所歌







JR旭川駅→美瑛→国立大雪青少年交流の家間は、路線バス（道北バス）が1日4往復しています。
また、旭川空港→美瑛→富良野間は、路線バス（ふらのバス）が運行しています。
※詳しくは各バス会社へお問合せください。





交通機関

- ●道北バス　0166-23-4161
- ●ふらのバス　0167-23-3131
- ●JR美瑛駅　0166-92-1854

独立行政法人　国立青少年教育振興機構
国立大雪青少年交流の家
National Taisetsu Youth Friendship Center

〒071-0235
北海道上川郡美瑛町字白金
TEL　0166-94-3121 / FAX 0166-94-3223
ＨＰ　https://taisetsu.niye.go.jp/

「体験の風をおこそう」運動®